

小学五年

国語

解答と解説

1

問一	イ	21
問二	本格的な陸	22
問三	工	23
問四	イ	24

問五	⑤	25
ウ	⑧	26
イ	問六	27
エ		

問七	A	(完答)
イ	ツ	
プ	ス	
B	秘密	28

問八	A	(完答)
心	と	
身体	B	
わから	ない	29

問九	イ	30
問十	ア	31
問十一	ウ	32

2

問一	イ	33
問二	芽かきと土	34
問三	ウ	35
問四	工	36
問五	ア	37

問六	A	(完答)
成熟するに	B	
イ	モ	
1	個	
当		38

問七	エ	39
問八	ウ	40
問九	茎	41

2

問二	芽かき、土	※別解
----	-------	-----

		5		4		3			
⑥	塩酸	62	①	教師	57	①	主	①	主
⑦	浴室	63	②	首位	58	②	ア	②	主
⑧	示	64	③	南極	59	③	ア	③	主
⑨	燃	65	④	夜景	60	④	ウ	④	主
⑩	日課	66	⑤	護岸	61	⑤	イ	⑤	主

【解説】

① 黒川裕子『天を掃け』（講談社）から出題しました。短距離走者として期待され、その身体能力だけでなく、自分がタフであることに絶対の自信をもっていた駿馬がイップスと診断され、苦しむ姿が描かれています。明るくふるまいながらも、内面に葛藤を抱えている駿馬の心情を、読み取りましょう。

問一 B1 理由 比較

——線①の直後に「じつは駿馬は、けがをしてからというものの、陸上部をずっと休部している。見学や手伝いもサボって、ずるずる休みつづけて…もうとつくに復帰してもいい状態なんだとは、まだ伝えていない」とあります。何も報告しないまま部活を休んでいるので、顔を合わせるのが気まずいのでしょうか。ですから答えはイです。ア「コーチのことが駿馬は苦手」、ウ「コーチと過ごす時間はかたくるしい」、エ「陸上のことでの悩んでいることを見ぬかれているような気がする」の部分が本文には示されていません。

問二 B1 具体化 関係つけ

ここでいう「復帰」とは陸上部にもどる、ということですが。また、リード文に「医者から、そろそろ〇〇してもいいと言われている」とあるので、医者から言われた、陸上部にもどつてもいいということと同じ意味の言葉を探しましょう。医者と駿馬のやりとりは、——線⑦の三行後から書かれています。この部分から答えを作成するとよいでしょう。
※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問三 B1 具体化 比較

「つばをのむ」「固唾をのむ」は緊張しながら事の成り行きを見守るときに使う言葉です。——線③直後に「今日はくるかな、こねえかな」とあり、そのあとのコーチの「ホントにもう陸上やめちゃうの」という質問に対して「——きた」とあるので、コーチから陸上のことを聞かれるかどうか、はらはらしているのだとわかります。このことに触れられているのはエです。ア「ヨシワカに感謝」、イ「ヨシワカには…相談するべきか」、ウ「ヨシワカを怒らせたのではないか」の部分が本文から読み取れません。

問四 B1 関係つけ 比較

④の前後でヨシワカは、駿馬が今後陸上を続けるのかと問い、駿馬の陸上の才能を生かすべきだ、という話をしていきます。これは陸上部のコーチとしての立場から話していると考えられます。ウ「理学療法士」、エ「大学陸上の選手」としての顔もあつたヨシワカですが、駿馬との関係性を考えると、イ「陸上コーチ」とするのが最適です。

問五 B1 関係つけ 比較

⑤は、「ギロつと目であながされて」、つまりヨシワカの無言の圧力に負けて、椅子に座り、足を見せた、という場面です。駿馬にとって、けがをした足の現状を確認されるのはいやなことなので、ここにはウ「しぶしぶ」が入ります。
⑧は、病院に行ったのは、足に異変を感じてから「一か月後」ですから、その間いろいろ考えて苦しんでいたことがわかります。ここはイ「さんざん」を入れるのが適当です。

問六

B1 具体化 比較

ヨシワカは駿馬のけがが完治していること、駿馬も自分でトレーニングをしているということを確認した上で、ふだんの碎けた調子とはちがい、あらたまつた口調で語りかけています。

——線⑥の四行後に「目つきは真剣」とあることから、ヨシワカが真面目に、真摯に語りかけていることがわかります。それは駿馬にも伝わっており「本気で駿馬のことを心配してくれてるし、期待してくれている」とあります。この気持ちが示されている選択肢はエです。ア「おだてて」「チャンスがきたと喜ぶ」、イ「ほっとする」は「口調があらたまる」という言葉とはあいません。ウ「一度の失敗でくじけ」「努力の大切さや人生の厳しさを伝えなければ」が駿馬に実際におこつたことと、ヨシワカの言動とあいません。

問七

B1 理由 関係づけ

——線⑦の直後に「すぐに答えることはできなかった。ヨシワカに秘密にしていることがある」とあります。ヨシワカに自分の秘密を探られているような気がして、「ぎくり」としたのでしょうか。その「秘密」の内容は、ここから——線⑨の前までの部分で示されている、駿馬がイップスという診断を受けるまでの流れです。この部分から答えを作成するとよいでしょう。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問八

B1 置換 関係づけ

——線⑨、すなわちイップスの症状を駿馬がどんなふう to 受け止め、感じているのかということは、ここから最後にかけて

書かれています。——線⑨と似た表現で、リード文の「ばらばら」が含まれているのは、最終段落です。この部分から字数に合わせて言葉を抜き出します。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問九

B1 理由 比較

——線⑩の直前に、「いつもあつけらかんとしていて、無理だろうと友だちにいきめられるようなことでも向こうみず挑戦してきた：全然、自分らしくない」とあり、——線⑪の三行後に「精神的なりハビリが必要とか、カッコ悪くて言えるか」とあります。駿馬は、自分は精神的にタフな人間だということを、「自分らしさ」として認識していたから、イップスと診断されたことを受け入れられず、親にも言えない、カッコ悪いと思っていることが分かります。そのことに触れられているのはイです。ア駿馬は「速く走れる」ことを誇りに思っていたのは確かでしょう。しかし、駿馬がショックなのは、自分のメンタルの問題で走れなくなっている、ということなのです。また、「速く走れる」ことを「誇りにすべきものではない」とはどこにも書かれていません。ウ「以前のように走れることはない」の部分が誤りです。エ「人生の苦難に立ち向かう強さがない」とまでは本文で言及されていません。

問十

B2 具体化 比較

「あてはまらないもの」を選ぶ問題です。ア「体が弱かった」の部分が本文の内容とあっていません。

問十一

B1 理由 比較

——線⑫の直前に「一メートルだって本気では走っていない。もし次も走れなかったら、今度こそ、何かが折れてしまいそう」とあることから、駿馬は「本気で走る」ことから逃げています。それは、イップスと診断された自分を受け入れられないからです。足を引きずっている駿馬を見れば、周囲は駿馬に本気で走れとうながすことはないでしょう。また駿馬自身も、イップスであることと向き合わずにすみませす。そういったことに触れられている選択肢はウです。ア「競い合うことに疲れてしまった」、エ「足をひきずることによって自信を取り戻したかった」の部分が本文の内容とあいません。イ周りからの質問などもわずらわしいでしょうが、駿馬が何よりも目を背けたいのは、「思っていたよりずっと弱い男」である自分です。その点にも触れられているウの方が適切です。

2

田中修・丹治邦和『植物はなぜ毒があるのか 草・木・花のしたたかな生存戦略』（幻冬舎）から出題しました。学校菜園で栽培され、収穫されたジャガイモが有毒であることが多いのはなぜか、という問いから始まり、その理由として、「芽かき」「土寄せ」という作業が十分でないことがあげられています。そしてジャガイモが有毒物質を作り出すのは、動物の食害から自分のからだを守るためだという結論が導かれます。問題提起の文、「二つ目は」「二つ目は」など、これから何が書かれるのか、文章全体の構成がどうなっているのかがわかるヒントとなる文や言葉に注意して、文章を読み進めていきましょう。

問一

B1 理由 比較

——線①の作業は、ジャガイモの「芽の部分」を深く取り除く作業です。なぜそのようなことをするのでしょう。——線①の次の段落に、「有毒な成分は：ジャガイモの芽の部分だけに含まれているとは、限らない」とあることから、少なくとも芽の部分には毒があることが読み取れます。その毒を取り除くために、——線①のような「芽かき」をするのだとわかります。答えはイです。ウはあとで説明されるもう一つの「芽かき」をする理由です。アは毒のことに触れられていませんし、エ「家庭菜園では」の部分が本文の内容とあいません。

問二

B1 理由 関係づけ

この文章全体の問題提起の文は、——線②の次の段落の「なぜ、学校菜園では、表皮が緑色になった部分をもつジャガイモや、未熟な小さなジャガイモができてしまうのか」です。そうなるのは、その直後にあるように、「学校菜園では、大切な二つの作業が栽培で見落とされがちになる」からです。この二つの作業とは何かを読み取りましょう。「二つ目は、『芽かき』という作業」で、「二つ目の作業は、『土寄せ』です。「二つ目は」「二つ目は」などの言葉に注意して読むと、文章の構成がわかります。ここではまとめて抜き出さなければならぬので、結論が書かれている部分から抜き出す必要があります。すると、最後から二番目の段落に、「話は戻りますが、結局、学校菜園で栽培されたジャガイモが有毒な物質をつくるのは、芽かきと土寄せという作業が十分に行われていないためです」とあるのが見つかります。ここから、空らんにあう言葉を抜き出すとよいでしょう。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問三

B1 具体化 比較

——線③の次の段落に、「芽生えの本数が多くなると、小さなジャガイモが多くできます」とあります。そうなると、成熟した小さなイモか、有毒物質を含む未熟な小さなイモかの判別がむずかしく、「きちんと成熟する前に収穫され」てしまう可能性が高まります。これが困りごとです。ですから答えはウです。ア・イは本文に書かれていませんし、エ「成熟しても有毒な物質を多く含んだまま」の部分が本文の内容とあいません。

問四

B1 置換 比較

指示語の問題は、それを含む一文を読んでから前に戻って指示語の内容を読み取るというのが鉄則です。この場合、「一つの種イモから出た芽生えの本数が多い場合、芽かきで芽生えの数を減らすことが必要」なのは、何を「避ける」ためのなのか、と考えてから前に戻り、内容を確認して答えを選びます。——線④の前には「小さなジャガイモが未熟なのか成熟しているのかの判別はむずかしい」そのため、小さなジャガイモは、きちんと成熟する前に収穫されがち」とあるので、芽かきは、有毒物質を含む未熟なジャガイモを収穫することを避けるためだとわかります。ですから答えはエです。イ「イモのサイズによつて収穫するかしないか判別」とありますが、成熟したイモでも小さいサイズのものがあるから判別がやっかいなのです。

問五

A2 知識 比較

この言葉の意味が分からなくとも、最後から二番目の段落に、「芽かきと土寄せという作業が十分に行われていない」とあるので、「十分に行われていない」と同意の表現であるアを選びます。

問六

B1 理由 関係づけ

——線⑥の直前に「すですから」とあることに注意しましょう。ここより前に理由が示されています。ここから答えを作成するとよいでしょう。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問七

B1 理由 関係づけ

⑧を含む段落に、「この作業（土寄せ）がなおざりにされる」とあるので、ここに土寄せする理由が書かれていると考えられます。そこには、土寄せしないと「光が当たって：表皮が緑色になることで、緑色の部分に、有毒な物質がつかれます」とあります。こうならないように、土寄せをする、ということですから、答えはエです。

問八

B1 関係づけ 比較

接続語の問題は前後の関係を読み取ります。この場合、⑧の前では「畝の土は：流れます」とあって、後で「土寄せという作業をしなければなりません」とあるので、順接です。イ「つまり」は言い換えや、まとめるときに使うので、ここではウの「ですから」が適切でしょう。

問九

B1 関係づけ

ジャガイモのイモの部分は「茎が肥大したもの」だと——線③の四行前でも説明されています。

問十

B2 具体化 推論

ジャガイモが「弱い光でも…緑色」に変わる性質をもっている目的を問われています。その目的については、——線⑩の直後の段落に示されています。そこには「光の当たる外へ出るということは、動物たちに食べられるという危険な可能性が増大するということであり、だからジャガイモは「光が当たると、緑色に変わり有毒な物質をつくる」ことで「食べられるのを防ぐ」とあります。「食べられる」という言葉は使えませんが、「食べられるのを防ぐ」を言い換えましょう。すると、その次の段落に「有毒な物質をもつのは、自分のからだを守るため」という表現があります。この表現を使います。ポイントは二点、①有害な物質をつくる、②自分のからだを守るということに触れられているからです。

※設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点2点とします。

問十一

B2 抽象化 比較

本文中では、小さくて未熟なイモや表面が緑色のイモは有毒物質が含まれているとあるので、ア・ウは不適切です。イ家庭菜園で育てたイモでも、その世話によっては食中毒を引き起こす可能性も出てくるのでこれも不適切です。

3

A2 知識 比較

主語・述語の問題です。述語を見つけてから、主語となる「誰か」「何が」を考えるようにしましょう。

- ① 述語は「たんじょう日です」となり、何が「たんじょう日」なのかを考えると、「今日は」が主語になると分かります。
- ② 「練習する」のは「私」ですが、この文では省略されています。
- ③ 「咲いていた」のは「花」です。「〜では」「〜には」は主語になりません。この「は」は主語を示すものではなく、「〜で」「〜に」を強調するためのものです。
- ④ 「出演する」のは「彼」です。
- ⑤ 「母」は誰なのか、を考えましょう。「作ったのは」の「の」は「人」に置き換えられます。「クッキーを作った人はぼくの母です」とするとわかりやすいです。

4

A1 知識 比較

ことばの問題です。問われている言葉以外でもわからない言葉があれば、辞書でその意味だけでなく例文までチェックしておきましょう。

- ① きりきり…物事をてきぱきとするさま。
- ② うすうす…たしかではないが、何となく。
- ③ 「ゆめゆめ」は「少しも〜ない」という意味で、打消しや禁止の言葉とセットで使われます。
- ④ 鵜呑み…人の考えを理解せずにそのまま受け入れること。
- ⑤ 豚に真珠…いくら値打ちのあるものでも、それが分からない人には役に立たないことのとえ。
- ⑥ きぜわしい…気持ちが焦っておちつかない状態。